

ひろしま医療関連産業研究会 第1回フットケアワークショップ報告

我が国の要支援・要介護認定者約600万人の半数近くは、歩行をはじめとする生活機能の衰えが原因とされています。また、糖尿病等由来の足病変も、診療報酬が適用され医療現場での注目度が高まっています。

これらの状況を踏まえ、今年度開催する「フットケア・ワークショップ」は、「足や脚の健康管理・機能維持・向上のためには、自分たちはどのような寄与・貢献ができるのか?」を、大学の先生方のお話を伺いながら参加企業様に考えていただき、優れた新製品・新サービスの事業化を図るため活発な意見交換が行われました。

<フットケアワークショップ>

【日時】平成28年12月5日(月)14:00～16:00

【会場】広島大学 霞キャンパス 保健学部棟 106室(広島市中区霞1丁目2-3)

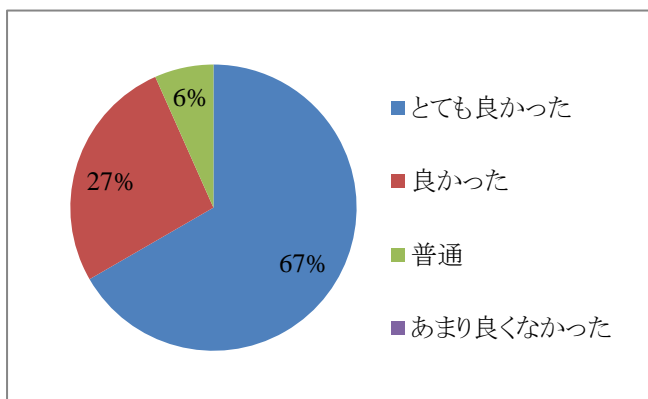
【出席者数】 27名 【企業数】 11社 17名

【議題】「下肢に関連する健康維持、リハビリ、医療・介護ケアについて」セミナー及び意見交換

広島大学大学院医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門 教授 浦辺 幸夫 先生

<アンケート結果>

1. 今回のセミナーについて



<主な意見>

- ・足のトラブルについて考えていたが、生活習慣、歩き方、靴・・・様々な関係があるので、より幅広く考えていく必要があると感じた。今後の商品に生かしていきたい。
- ・基本的な知識も得られた上に、フットケアに関する独自の観点が得られた。また、質疑応答を通して新しいアイデアが浮かび有益であった。

- ・今後のフットケア全体のあり方を考えさせられた。
- ・歩行についてなど、知らなかった情報を得ることが出来、有意義な時間となった。
- ・下肢のみならず、運動の重要性が身に染みて理解できる話でした。
- ・データに基づく具体的に数値的な、判りやすい説明が良かった。
- ・現場目線での具体的目標(仮題)が見えた。
- ・各企業の販売している製品の情報交換ができる場が欲しかった。
- ・靴に対する知識に関しては、一般的にみてまだまだ軽視されていると思った。歳を取ると足関節が硬く、歩幅が狭くなるので、歩きの質も悪くなると思います。次回は、その辺りに深く触れられたらと思います。

ひろしま医療関連産業研究会 第2回フットケアワークショップ報告

第2回フットケア・ワークショップでは、「足や脚の健康管理・機能維持・向上のためには、自分たちはどのような寄与・貢献ができるのか？」を、大学の先生のお話を伺いながら参加企業様に考えていただき、優れた新製品・新サービスの事業化をご企画いただく場を提供することを目的として開催いたしました。

<フットケアワークショップ>

【日 時】平成 29 年 2 月 16 日(木)14:00 ~ 17:00

【会 場】広島国際大学 広島キャンパス 803 研修室(広島市中区鞆町 1-5)

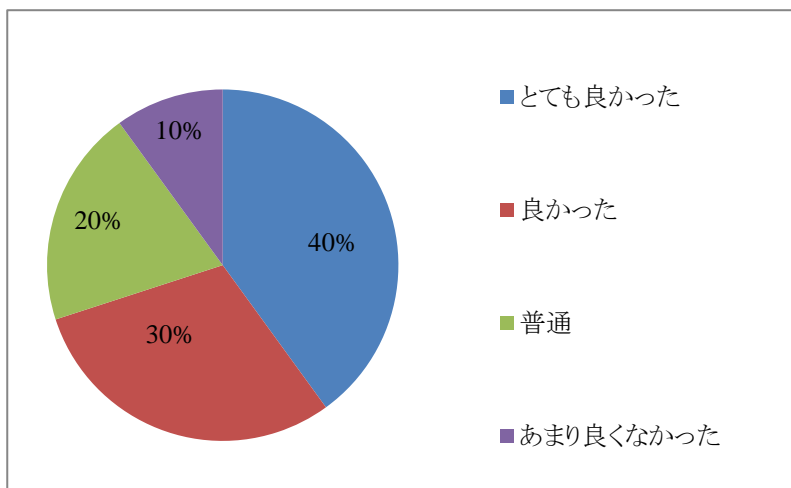
【出席者数】 21 名 【企業数】 10 社 14 名

【議 題】「フットケア -医療の現場で行っていること-」セミナー及び意見交換

広島国際大学 総合リハビリテーション学部 教授 茂木 定之 先生

<アンケート結果>

1. 今回のセミナーについて



<主な意見>

- ・足病変の治療を学ぶことができ大変勉強になった。
- ・自分の今後伸ばしたい分野の内容であったので参考になった。
- ・医学全般ですがこれまで特に勉強していないので、ほとんど初めての内容で、個人的にはちょうど良く今回も大変勉強になった。
- ・フットケアとなると糖尿病が一番関連してくるようで、フットケアをする現場でも必ず糖尿病のことを勉強させられます。医療関係ではないので、そこまで詳しく深く考えてはいませんが問題を起こさせないために必要最低限の知識は必要だと考えています。
- ・かなり具体的な内容でしたので、この手の知識不足のため内容からヒントを感じ取るのに時間がもう少しあれば良かったです。
- ・話の内容は非常に専門的で良かったと思う。その中で内容が余りにも医学的で当社の事業とはマッチングしにくい。

* 実際の手術の工程を紹介されるなど、医学的に専門的な内容でした。

ひろしま医療関連産業研究会 第3回フットケアワークショップ報告

第2回フットケア・ワークショップでは、ワークショップ参加企業の中から、希望を募り、第15回日本フットケア学会年次学術集会へ参加致しました。（学会発表聴講、製品展示等）

【日 時】平成29年3月24日（金）10:00～3月25日（土）17:00

【場 所】岡山コンベンションセンター、ANAクラウンプラザホテル岡山、岡山県医師会館

【参加企業】13社

【参 照】<http://www.15th-footcare.jp/index.html>

